## 慶応 4 牟 蚏 治元年(1868)

【社会】

▼鳥羽・伏見の戦い(1月、戊辰戦争開

▼大政奉還(3月) 始、2年5月終結

▼江戸城開城(4月)

▼江戸を東京と改称(7月)

▼明治と改元(9月8日)

## 【医事】

### [軍事]

▼横浜軍陣病院を東京に移転、大病院 長ウィリス、戊辰戦争の負傷者収容) 横浜に軍陣病院設立(1月) 院

# [医療行政

と称し、医学所の所属とする(9月)

太政官、西洋医学採用を許可(3月)

▼緒方惟準、

典薬寮医師に採用(9月)

西洋医術採用を公認) 太政官、 医業取締と医学振興に関す

る布達(12月

# 医育機関

▼新政府、旧幕府の医学所復興(6月、 頭取 林洞海)→医学校兼病院(2年2

月)→焼失(33年5月)→(再興)区立函 院(23年4月)→区立函館病院(32年10 庁立函館病院(19年3月)→公立函館病 年7月)→県立函館病院(17年9月)→

科大学(19年3月)→東京帝国大学医科 学部(第1次、10年4月)→帝国大学医 →東京医学校(7年5月)→東京大学医 7月)→第一大学区医学校(5年8月) 月)→大学東校(2年12月)→東校(4年 大学(30年6月)→東京帝国大学医学部

和22年10月 (大正8年4月)→東京大学医学部(昭

止(10月) 年10月)→長崎医学校(7年1月)→廃 校(5年8月)→第五大学区医学校(6 院医学校(2年7月)→第六大学区医学 長崎府医学校·病院(長崎精得館改 10月、頭取 長与専斎)→長崎県病

# [医療施設

→廃止(13年11月)→公立函館病院(14 (2年9月)→大学東校所轄函館病院 政方病院と改称(4月)→官立函館病院 (3年10月)→官立函館病院(4年11月) 箱館府設置、 箱館医学所を箱館府民

# 明 治2年(1869)

▼東京遷都(3月)

【社会】

五稜郭開城(5月、戊辰戦争終結

(米)大陸横断鉄道開通(5月)

▼東京・横浜間、 (埃・仏)スエズ運河開通(11月) 電信開通(12月)

# 【医事】

(英)ネイチャー

医育機関

▼大阪・大福寺に仮病院設立(2月)→ 合併改称、2月)→大学東校(12月) 医学校兼病院開設(医学所と大病院

以降は太陽暦をもって記載した。

明治5年12月3日(太陽暦6年1月1日)までは年月は太陰暦をもって記載し、

館病院(38年11月)→焼失(40年8月)→

(再樂)区立函館病院(42年7月)→市立

ゲッチンゲンに整形外科病院開設 函館病院(大正11年8月) ヘッシング(独、近代整形外科の祖)、

## 【医学】

▼ミシェル(瑞)核酸を発見

▼パストゥール(仏) 低温滅菌法を開

立(13年6月)→廃止(21年3月 月)→県立鹿児島医学校・附属病院設 ▼薩摩藩医学校・病院設立(3月)→医 学校長兼病院長にウィリスが就任(12 →廃止(9月) 2月)→第四大学区医学校(5年8月) (9月)→大阪医学校(大学直轄、3年 大阪府病院(7月)→大阪府医学校開校

▼長崎県病院医学校(長崎府医学校・病 院改称、7月

▼官立函館病院(箱館府民政方病院改 医療施設

# 称、9月)

▼ランゲルハンス(独) ルハンス島細胞を記載 膵臓のランゲ

シモン(独) 初めて腎摘出術に成功

# 明治 3年(1870)

## 社会

▼イタリア統一 合(10月) 完成(ローマ教皇領併

海外留学生規則(12月)

▼太政官布告

→在外研究員規程(11年1月 文部省在外研究員規程(大正9年9月) →文部省外国留学生規程(25年11月)→

### 【医事】

開始(2月 学東校教師にドイツ人医師招聘の交渉 、政府、 ドイツ医学の採用を決定、 大

# [医育機関]

▼政府、大阪府医学校を大学の直轄と し、大阪医学校と改称(2月) 金沢藩医学館設置(2月)→金沢県医

年4月)→石川県金沢病院(8年8月) 学館(4年7月)→私立金沢医学館(5 →金沢医学所(9年8月)→金沢医学校

学所(5年1月)→閉鎖(2月)→再興 3月)→廃止(21年3月) 岡山藩医学館設置(4月)→岡山藩医

(12年11月)→石川県甲種医学校(17年

(4月)→医学教場(7月)→岡山県医学

# 校(13年9月)→廃止(21年3月) [医療施設

院移管、道内各地の病院を統轄 ▼大学東校所轄函館病院(官立函館病 10月

フリッチュ(独)、ヒッチヒ(独) 大脳

皮質に運動中枢を発見 オールバット(英)近代的臨床体温

### 明 治 4 年(1871)

## 【 社 会 】

務開始、 郵便規則制定(東京・大阪間に郵便業 1月

ドイツ帝国成立(独、 3月)

パリ・コミューン(仏、 新貨条例制定(5月 5月)

廃藩置県通達(7月)

文部省設置(大学廃止、 7月)→文部

科学省(平成13年1月)

▼岩倉使節団、米欧回覧のため出発(11 月、長与専斎随行)→6年9月帰国

## 【医事】

[軍事]

月)→医務局(19年2月)→廃止(昭和20 軍医部(6年5月)→軍医本部(12年10 所管(5年2月)→軍医寮廃止・本病院 制度の確立、軍医頭 松本順)→陸軍省 ▼兵部省に軍医寮設置(7月、陸軍軍医

# 医療行政

(英)強制種痘法施行

# 医育機関 名古屋藩、仮病院·仮医学校設置(5

病院(病院名称変更) 院開設(4月)→仮病院復興(6年5 年2月)、仮医学校閉鎖(8月)→義病 、専任教師 医学講習場開設(11月)→愛知県 張三石)→仮病院閉鎖(5 8年1月)→愛知

県公立病院医学講習場(9年4月)→愛 知県公立医学所(9年6月)→愛知県公

年10月)→(甲種 16年1月)→愛知県立 学校(36年7月)→県立愛知医科大学 医学校(34年8月)→愛知県立医学専門 立医学校(11年4月)→愛知医学校(14 〔昭和6年5月〕→名古屋帝国大学医学 (大正9年7月)→官立名古屋医科大学

医療行政

年10月 ▼東校(大学東校改称、 7月

部(14年4月)→名古屋大学医学部(22

# 金沢県医学館(医学館改称)

7 月

官立函館病院(大学東校より開拓使 11月

## 医学】

律を発見 ボウディッチ(米) 心臓収縮の悉無

# 明 治5年(1872)

## 【社会】

▼人口3481万人(内務省調査)

育令制定(12年12月 ▼文部省、学制施行(8月)→廃止 · 教

横浜開通(9月 太陽曆採用(太陰曆5年12月3日 品川·横浜鉄道仮営業(5月)、 は

太陽暦6年1月1日となる)

## 【医事】

# [軍事]

▼兵制改革(兵部省廃止、 院は海軍省所管 2月 省設置、 軍医寮は陸軍省所管 陸軍省、 海軍病 海軍

厚生労働省(平成13年1月) 〔8年6月〕→厚生省(昭和13年1月)→ 文部省に医務課設置(7月)→内務省

# 医育機関

▼岡山藩医学所(岡山藩医学館改称、

1

▼名古屋藩仮病院閉鎖(2月)、 校閉鎖(8月)→義病院開設(4月)

# 4月) ▼私立金沢医学館(金沢県医学館移管、

▼第一大学区医学校(東校改称、 8月)→廃止(9月) 第四大学区医学校(大阪医学校改称) 8月

▼第六大学区医学校(長崎県病院医学 校改称、8月)

年11月)→京都府立医学校(34年9月) 校(14年7月)→京都府医学校(甲種 療病院医学校(12年8月)→京都府医学 例制定(医学教育の開始) →京都府立医学専門学校(36年6月)→ 京都療病院開設、 京都療病院生徒条 11月)→京都 15

# 京都府立医科大学(大正10年10月)

▼ランゲンベック(独)、 ドイツ外科学

会創設

## 【社会】

明

治 6

年(1873)

▼徴兵令制定(1月)→兵役法(昭和2

年4月)→廃止(20年11月)

▼地租改正法制定(6月、 7年より着

12月) ▼内務省設置(11月)→廃止(昭和22年

## 【医事】

### 軍事

▼陸軍、 部が所管(5月) 軍医寮廃止のため本病院軍医

# [医療行政]

▼文部省医務課、 医務局に昇格(3月、

▼長与専斎、文部省医務局長に就任(6 初代局長 相良知安)

▼東京府、 座敷渡世規則・娼妓規則・芸妓規則、 娼妓の梅毒検査を制度化(貸

# [医育機関]

復興(8月)、 名古屋・義病院閉鎖(2月)→仮病院 第五大学区医学校(第六大学区医学 医学講習場開設(11月)

▼第一大学区医学校に製薬教場設置 (製薬学教育の開始、7月、 9月開校

4月

京大学医学部製薬学科(10年4月)→帝 東京医学校製薬学科(7年5月)→東

京帝国大学医科大学薬学科(30年6月) 国大学医科大学薬学科(19年3月)→東 ·東京帝国大学医学部薬学科(大正8

月 22年10月)→東京大学薬学部(33年3 年4月)→東京大学医学部薬学科(昭和

# [医療施設]

▼順天堂、佐倉より下谷練塀町に移転 (2月)→湯島・本郷に移転(8年5月)

▼エスマルヒ(独) 人工駆血法を発表 オーベルマイヤー(独) 回帰熱スピ ヘータ発見

学・医学賞) 法を発見(→1906年ノーベル生理 ゴルジ(伊) 銀塩を用いた細胞染色

ハンセン(諾) らい菌発見

年6月、

教頭 浅川岩瀬)→県立千葉医

# 明 治7年(1874)

佐賀の乱(2月~3月)

▼台湾出兵(4月~12月)

和24年5月

▼東京司薬場設立(3月、 験所(16年5月)→東京衛生試験所(20 輸入薬を検査)→内務省衛生局東京試 文部省所管、

年5月)→厚生省所管(昭和13年1月)

薬品食品衛生研究所(平成9年7月 →国立衛生試験所(24年6月)→国立医

り東京(8月)・京都・大阪(9月)3府 可とする) は試験を要せずに開業免許を受け開業 可制の採用、 医制(医療の基本法)公布、 布達(国家試験による医師の開業許 ただし、従来開業の医師 文部省よ

# 医育機関

5月) ▼長崎医学校(第五大学区医学校改称) ▼東京医学校(第一大学区医学校改称、 1月)→廃止(10月)

千葉病院と改称、医学教場を附設(9) 学校製薬教場改称、5月 ▼共立病院開設(千葉町、7月)→公立 東京医学校製薬学科(第一大学区医

校医学部(官立移管、21年9月)→第一 学校(甲種、 専門学校(34年4月)→千葉医科大学 高等学校医学部(27年9月)→千葉医科 (大正12年4月)→千葉大学医学部(昭 15年10月)→第一高等中学

種長崎医学校(15年5月)→廃止(21年 年6月)→長崎医学校(10年12月)→甲 病院(8年4月)→長崎病院医学場(9 ▼長崎医学校廃止、 (支)局(兵員)病院に移管(10月)→長崎 (台湾)蕃地事

3月)

▼クローグ(丁) 毛細血管は体の各部

で血液の流れを制御していることを発

ティールシュ(独) 植皮術を提唱 クスマウル(独)糖尿病性昏睡、 ウル呼吸を記載

クス

## 明治 8 年(1875)

▼ 日露、 千島樺太交換条約に調印(5

▼メートル法条約締結(5月、9年1月

▼度量衡取締条例(8月)→度量衡法 和18年11月)→気象庁(31年7月) ▼東京気象台創設(内務省所管、 →中央気象台(20年1月)→(文部省移 28年4月)→(運輸通信省移管、 6 月 昭

▼江華島事件(9月)

(24年3月

# 医事】

医療行政

務 7局に移管(6月)、衛生局と改称(7月) 医育機関 衛生行政事務を文部省から内務省第

▼愛知県病院(名古屋・仮病院改称、 1

## 【医事】

▼新型インフルエンザ世界的流行(メ キシコに始まり、わが国では5月発見 [医療行政]

▼肝炎基本対策法(肝炎法案)公布(12

# 施行22年1月

医学 [文化勲章]

▼日沼頼夫(ウイルス学)

文化功労者.

# 審良静男(免疫学)

谷口維紹(分子生物学)

日本学士院賞

質の全合成 竜田邦明 ▼糖質を用いる多様な天然生理活性物

研究 清水孝雄 ▼生理活性脂質と膜脂質代謝に関する

御子柴克彦 ▼細胞内カルシウム制御機構の研究

[ノーベル生理学・医学賞

組みの発見に対して ロメア合成酵素による染色体保護の仕 ▼ブラックバーン(米)、グライダー (米)、ショスタク(米) テロメアとテ

# 平成22年(2010)

## 【社会】

調査、10月) ▼人口1億2806万人(第19回国勢

> 同受賞 有機合成におけるパラジウム 大)ノーベル化学賞[ヘック(米)と共 ▼根岸英一(パデュー大)、鈴木章(北 触媒によるクロスカップリング法に対

位に(米国、 して、12月 中国国内総生産(GDP)、 中国 日本の順 世界第2

# 【医事】

外国人看護師3人誕生(3月)

立梅ケ丘病院統合、3月) 都立小児総合医療センター発足(都

▼国立がん研究センター開設(国立が んセンター改称、4月)

▼国立精神・神経医療研究センター開 立循環器病センター改称、4月) 国立循環器病研究センター開設(国

立成育医療センター改称、4月) 設(国立精神・神経センター改称、4月) 国立成育医療研究センター開設(国

立長寿医療センター改称、 国立長寿医療研究センター開設(国 4月

▼日本プライマリ・ケア連合学会(日本 学会、日本総合診療医学会合同、4月) プライマリ・ケア学会、日本家庭医療

【医事】

## 医学

[文化功労者

山中伸弥(幹細胞生物学)

松尾寿之(生化学)

# [恩賜賞・日本学士院賞]

▼人工多能性幹細胞(iPS細胞)の樹立 山中伸弥

# [日本学士院賞

▼プロテアソーム(蛋白質分解酵素複 用に関する研究 大類洋、村橋俊一 ▼新規生物機能性分子の創製とその応 合体)の構造と機能に関する研究 田中

# ノーベル生理学・医学賞]

確立に対して ▼エドワーズ(英) 体外受精の技術の

# 平成23年(2011)

## 【社会】

先導、1月 ▼チュニジア政権崩壊(アラブの春の

超、3月) ▼東日本大震災(死者1万5000人

▼タイ洪水(7月~11月) 3月) ▼原子力緊急事態宣言(福島原発爆発)

# [学会」

研究所改組、

4月

▼第28回日本医学会総会(東京、 会頭 矢崎義雄) 4月、

# 医学

# [日本学士院賞

▼糖鎖生物学、 の病気での重要性についての先駆的業 谷口直之 とくに N-結合型糖鎖

[ノーベル生理学・医学賞] の制御機構に関する研究 宮園浩平

がん細胞における細胞シグナルとそ

▼スタインマン(加) 免疫機能の解明 ▼ボイトラー(米)、ホフマン(仏) 免疫 樹状細胞の発見に対して 機能の解明、自然免疫機能の解明

# 平成24年(2012)

## 【社会】

▼領土問題再燃 韓国・李明博大統領、

日

本政府抗議(8月) 竹島上陸、

政府反発、反日運動暴徒化(9月) 日本政府、尖閣諸島を国有化、

# 医学

# [文化勲章]

▼山中伸弥(幹細胞生物学)

# 日本学士院賞

▼金沢大学がん進展制御研究所(がん 制御性T細胞による免疫応答制御 坂口志文

# ノーベル生理学・医学賞

胞が初期化され多能性をもつことの発 ガードン(英)、山中伸弥(日) 102 579 350 163 37 455 455 178 499 103 637 449

アイヌの矢毒 アイヌの信仰とその儀式 あいぬ医事談 愛について 愛なくば 愛と性を説いて五十年 愛と性のハーモニー 愛と死について…… 愛と慈しみの国…… アイデンティティの心理学 アイソトープの医学的応用

# 原則として、 同 一標題の他書籍が混在している索引語があることに注意されたい 標題の五十音順に記載し、 副題等は割愛した。

- 素赤 ・ 赤赤 ・ 赤赤 ・ 赤赤 ・ 赤 ・ ちゃゃん か
浅浅
ア
新 新 新 新 新 新 新 新 新 新 新 新 新 新 新 新 新 新 前 助 しい な
新 新 しい

相磯和嘉集 愛生春風花開日 愛生園の記 愛情のモラル 愛児の育て方 愛児誕生 愛国者たち 愛犬のしつけ方と育て方 嗚呼二月二十六日

アイソトープによる癌の早 アイソトープ医学応用技術

> 637 i

期診断

愛氏新内科書

361 592 663 377 525 481 527 304 241 336 622 160

愛育茶譚 ああ、 嗚呼学聖隈川宗雄先生

山上の聖者

あ